8月3日 水曜日

昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646 (直通)販売(〃)0437 広告(〃)3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話 代表 芝(43)1163 振替 貯金 口座 東京170071

内外タイムス THE NAIGAI TIMES

第3176号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可)

米、新軍縮計画を起草

原水爆・製造実験を中止

〔ニューヨーク二日発AP=共同〕[illegible]

スタッセン氏

[illegible] …を樹立する。目下考究中の一定の計画のものは国連安保理への従属を希望しているものと解される。

失業者、71万人に

緊縮政策、大きく影響

労働白書 去年の情勢分析

[illegible] …主として一昨年と[illegible]、六月ごろから減少[illegible] ③全般的に労働経済[illegible]多くの問題が残され[illegible]

[illegible] 二十八年の二・三%から二十九年[illegible]

三、賃金水準上昇の鈍化=賃金は一人平均月間現金給与で、二十九年平均では対前年比べ上昇はかなり鈍化し、一方賃金不払いが増加[illegible]

四、労使関係の動向=争議状況は件数[illegible]それ三〇件、参加人員ともに前年より[illegible]少となっている。そのうち争議行為をともなった争議は、件数では前年より十六件増加しているが、参加人員では逆に二〇万人減少しており、規模の小さい争議が増加した。

統一戦線部と事務室を新設

日共、新組織を発表

[illegible] 集委員西沢富夫、同松本文雄、同橘勝之、同川崎巳三郎、同山辺健太郎、同藤原春雄

一、組織部部長春日正一
一、労働組合対策部々長鈴木市蔵、副部長御田秀一
一、農民部々長加賀谷喜一
一、青年対策部々長戎谷春松
一、婦人部々長野坂竜、副部長アサノ
一、市民対策部々長柳田春雄
一、選挙対策本部々長亀山幸三
一、統一戦線部々長宮本顕治、副部長伊井彌四郎
一、宣伝教育調査部々長竹中恒三郎、副部長伊藤憲一、風早八十二
一、文化部々長蔵原惟人、副部長宮島義男
一、機関紙部々長宮本顕治、副部長米原昶

この新組織によれば統一戦線部と事務室の二つが新たに加えられている。

内閣に関係閣僚懇談会

閣議決定 国防会議に代り新設

政府は国防会議法案が前国会で不成立に終ったため、その善後策について二日の閣議で協議した結果内閣に防衛関係閣僚懇談会をもうけ、国防計画ならびに防衛問題の対策を検討することになった。

閣議では根本官房長官から国防会議法案が不成立に終ったため、その法案に代る善後措置として防衛関係閣僚懇談会を閣内に設置することを提案した。これに対し各閣僚から活発な意見の交換があったが、政府としては

一、従来防衛計画は防衛庁事務当局だけが独自に作成したため、予算編成に際し議論が沸騰した

一、このため閣内で関係閣僚が常時会合して意見を調整すれば、予算編成時に円滑な操作ができる。

一、国防会議法案の不成立は対米折衝の成果に悪影響を及ぼす。

などの観点から重光外務、一万田大蔵、砂田防衛、石橋通産、高碕企画、河野農林、三木運輸の防衛関係七閣僚と根本官房長官が加わり"防衛関係閣僚懇談会"を内閣に常置し、当面の防衛問題ならびに国防会議に代るものとして防衛長期計画など、根本的な対策を検討することになった。

共産圏代表の一部入国許可

政府方針決る

花村法相は二日午前八時半東京小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪問六日から広島で開かれる原水爆禁止世界大会への共産圏諸国からの代表の入国問題につき約二十分間打合せたが個人々々の資格を調査したうえ入国させるべきであると述べ、首相もこれを了承した。

農相代理に高碕長官

政府は二日の定例閣議で八月八日から海外出張する河野農相の留守中、農相臨時代理として、鳩山首相の指名により高碕企画庁長官を当てることを決定した。

タ米空軍長官辞職

〔ワシントン一日発AP=共同〕辞職をうわさされていたタルボット米空軍長官は一日、アイゼンハワー大統領に八月十三日をもって辞職する旨の辞表を提出、同日大統領がこれを受理したため辞任が正式に決定した。

西部の伊達姿

アメリカはいま西部開拓者時代の勇者デーヴィ・クロッケットをしのぶ姿が大流行。その中でも美しいクロッケットはマイアミのアイリス・マックスウエル嬢の伊達姿です。かの女ののび切った二本の脚を見てはドウモウなインディアンもたじろぐでしょう(UP=サン)

終戦十年 来し方行く末 (中)

天佑、難関を突破

占領軍上陸から平和会議まで

下村海南

終戦となれば日本はどうなるか。終戦詔勅の玉音放送は無事にすんだ。しかし連合国の軍は全土に上陸する。果して平和が保たれ秩序が維持されるであろうか。

幕末から明治へかけ、いや大正昭和まで殺伐な空気がただよい、不祥な事故がつづいた。外人に対する刃傷も絶え間なかった。神戸に堺に、鶴ケ岡八幡に生麦に、東禅寺に芝の赤羽に、刃傷があいついだ。日清戦争後敗戦国の全権として馬関に上陸した老爺の李鴻章は狙撃された。日本観光に見えたロシアの皇太子は大津で額に斬りつけられた。狙撃、暗殺は日本のお家芸である。

その日本が戦を交え、数知れぬわが将兵は外地に命を失った。国内は空襲により至るところ家は焼かれた。広島、長崎には原子爆弾が落ちた。その日本本土の津々浦々に敵兵が上陸する。どこにも事故なしと誰がいい切れるか。現に八月十五日にはお膝元に近衛反乱軍が起った。島根県庁は襲われ焼かれた。終戦の年の暮まで、私はいつもラジオのニュースに耳をかたむけた。マアよかったマア無事であったと、ひと日ひと日を送って胸をなでおろした。それがなんと全土をあげてただ一つの事故もない。

起らなかった。連合国の兵力と優秀なる兵器の前にはコリャカナわぬと頭が下がったのか、敗戦により虚脱状態になったのか、それとも理知も常識も発達したのか。もし不祥事が起る、ゲリラ戦になるとしたら、折角ここまでこぎつけた終戦もメチャクチャになる。しかるにそうした不祥な予期は見事にはずれた。全く天佑といってよい。

つぎに終戦後必至と見たのはインフレである。大正十一年親しくドイツ、オーストリアで天文学的数字にまで高くなった物価、底知れずに下落した貨幣を見た。このたびの惨敗で国土は削られ巨額の賠償が降りかかる、ドイツのようなインフレの二の舞が必至と思った。ところが終戦後間もなく幣原首相と渋沢蔵相、次で吉田首相と石橋蔵相時代の財政措置は降服後わが政府と国民の態度により、気をよくした米国の支援の下に飢餓を脱し、インフレも思ったほどでなかった。我ら凡人の思慮は見事にはずれた。はずれてよかった。これまた天佑の加護といってよい。

そこへさらに大きく期待のはずれたものにサンフランシスコの平和条約があった。第一次の世界大戦にドイツは巨額の賠償の他にアルサスローレンを割かれ、植民地は全部とり上げられた。日露戦争には日本はロシアに勝った。勝ったけれども償金はとれない。土地は樺太半分であった。ロシア軍は敗れたといっても朝鮮、南満から新京まで後退したのである。ロシア本国に手はついていない。しかし日本国民あげて不平不満である。サケの片身だけでナアーンだというので、日比谷公園をはじめ全国で交番の焼打をはじめた。その日本はこんど見事に敗れてサンフランシスコの講和会議となった。世界の情勢も変り、米ソ間の冷戦がつづいた。それにしても敗れた国の吉田全権一行は国をあげての歓呼の声に送られ、日本をあとに戦の口火を切ったハワイで盛大なる歓迎をうけた。サンフランシスコでは、敗戦国日本の全権一行は歓迎攻めとなった。十有余の戦勝国をぬいて記事も写真も新聞のトップにでた。これでは歓迎されるには敗戦にかぎるよと歓喜の皮肉を口にしたとのことである。

ポーツマスから帰った小村全権は、迎えにかんおけを用意したと伝えられている。桂首相と山本海相が小村全権を中にかばい新橋駅についた光景にひきくらべサンフランシスコがえりの吉田全権の歓迎ぶりは、正しく天地雲泥の相違であった。われら凡人の思いもよらぬところであった。

終戦ここに十年、戦に敗れた日本は思いの他に恵まれた。幸せであったといわねばならぬが、しかしノド元過ぎてアツサを忘れておりはせぬか。イヤ、ノド元過ぎたという自覚さえあったのであろうか。今の日本、今後の日本はこれでよいのか。

サンフランシスコ講和条約調印式場で署名する吉田全権(左端)

粋な辞事

丸山定夫

ヒロシマに原子爆弾が投ぜられた八月になった。この一発で死んだ人の中で、私の知っているのは、広島出身の俳優丸山定夫である。丸山は東宝映画の初期PCL時代から盛に活躍したが、それまでは浅草の金竜館で、コーラス・ボーイをやっていた。浅草オペラに入ったのは、同じ広島出身のテナー大津賀八郎を頼って東京へ来たのである。大津賀はいい声であったが、大酒飲みであった。その頃の浅草は、金竜館に伊庭孝を中心とするオペラがあり、そこに藤原義江もいたが、この中心がオペラ館に移った。スターは田谷力三、柳田貞一、清水金太郎、清水静子、木村時子という、浅草オペラ華やかなる大正末期である。そこの舞台の隅っこで、「カルメン」や「コルネヴィユの鐘」の合唱で、はかない声を挙げていたのが、エノケン、中村是好、藤原釜足、作家の和田五雄であった。大部屋で小さくなっていたが、舞台に出ると一生懸命で、ゴールデンバットの箱で細工して、大きな出っ歯を作ったり、めくら乞食になって、大凝りに凝ったものである。

毎日コーラスで、腹の減った声を出していたが、欝勃たる勇気は納らない。そこで新劇のあこがれ、築地小劇場の俳優募集に応じたのが、エノケン、丸山、和田である。こっそり一日コーラスを休んで出かけてみると、試験官は田辺若男、和田精、これに土方与志、青山杉作両先生はもち論である。エノケンは眼を丸くして、てれくさそうに土方の前に立ち、丸山はのっそりした格好で、青山の前へ出て、しかつめらしい演技の試験を受けた。

ところがエノケンは、落第してしまった。もし及第していたら、あの築地小劇場の舞台で、エノケンが赤毛をつけて、イプセンでもやっていたろうか。丸山、和田は及第したが、そこはたのもしい浅草の仁義である。二人はエノケンに殉じて、築地に入らなかった。

しかしどうかして新劇がやってみたい。ちょうど昭和二年十一月に、歌舞伎座で先代市川左団次が東郷大将で「戦艦三笠」が上演された。これは小山内薫が書き、また演出で、これに必要なエキストラを築地小劇場で募集した。時こそ来れとエノケン、丸山、和田の面々、及落はともかくとして、小山内薫の指揮の下に、せめて三笠艦上の水兵位の役にはなれて、天下の歌舞伎座の舞台が踏めるとばかり、喜び勇んで応募し、採用されたはいいが、実はカブキ座はカブキ座でも、奈落へぶちこまれて、そこで艦上で打つ大砲の疑音の鉄板をゆすぶる役であった。それでも左団次が堂々たる東郷大将の扮装で、奈落を通って艦上へ上る時に、エノケン、丸山ともども口を揃えて、嬉々とし「先生、お早うございます」と挨拶するのが、無上の光栄であった。やがて舞台から「波は高いが、水雷艇は大丈夫か」という朗々たるセリフが、奈落まで聞えてきた。

丸山は、遂に待望の築地小劇場の一員になったが、細君が重傷で入院させる金がない。そこで松竹座で日の出の勢のエノケン一座に福田狂介という変名で出演させてもらった。役は「金色夜叉」の荒尾譲介である。大マジメの丸山だから、客は笑わない。エノケンは旧友のために一策を案じて、最後に涙を拭く手拭をしぼると、ザッと水が出るギャグを授けた。

冥福を祈る。

丸木砂土

【写真は故丸山定夫氏】

懸案の討議も 両国代表談

〔ジュネーヴ一日発ロイター=共同〕第一日の米・中共会談終了後両国代表はそれぞれ次のように語った。

王炳南中共代表=こんどの会談は双方に抑留されている民間人釈放問題に議題を限定すべきでなく、米、中共間には討議と解決を必要とする他の問題があり、これを討議すべきである。

ジョンソン米代表=この会談で双方が協調的態度をもって話合えば民間人釈放問題について意見一致をみることは困難でなかろう。

今夕第二回会談へ 米・中共共同声明

〔ジュネーヴ一日発AP=共同〕極東における緊張緩和を目ざす米・中共会談は一日、中共政府の米飛行士十一名釈放発表の直後に開始された。ジョンソン米、王炳南中共両代表は一日午後四時(日本時間二日午前零時)パレ・デ・ナシオンの会議室に入場した。会談はわずか四十分余りで午後四時四十五分(日本時間二日午前零時四十五分)終了した。

〔ジュネーヴ一日発ロイター=共同〕米・中共会談の両国代表は一日の会議終了後つぎのような共同コミュニケを発表した。

米、中共両国大使は一日の第一回会談で協議の結果、会談の議題を次のように定めることに意見一致した。

一、双方の抑留民間人をそれぞれ帰国させる問題。

二、両国間で懸案となっているその他の実際的問題。

次回の会議は二日午前十時(日本時間二日午後六時)から開く。

ジグザグコース

山本懸蔵の死

「徳球、北京に死す」このニュースは猛暑に喘いでいた日本中を驚かした。しかも二年も前である。いかにも徳球さんらしい幕切れである。だが、その消息が発表されるだけでもいい方だ。二十年も前にその消息を絶ったまま埋もれている日共の大幹部がいる。山本懸蔵である。年配者の方なら"山懸"という愛称のコミニストを記憶しているだろう。昭和三年、第一回普選に労働農民党から徳球さんなどと一緒に立候補したが三・一五の日共大検挙にあって、野坂参三夫妻とともにソ連に亡命した。"山懸"の最後について、野坂夫妻はよく知っているはずだが、戦後"山懸"のことは全くノー・コメントである。野坂が地下に潜入前、荒畑寒村氏に"山懸"の消息をなぜ語らぬかと相当突込まれたが、それでも野坂は語らなかった。

この労働者あがりの共産主義者は天性天真ランマン、モスクワに行く途中、ウラジオストックで連日女郎屋で英気を養い、意気投合した女と結婚してしまった。この女性はマツ子という名前で、彼と馴染みになってるうちに、すっかりその人柄と人民解放の情熱に打たれたというのである。山懸はマツ子新夫人を伴ってモスクワに行ったが、たちまちモスクワ共産大学(クートベ)の日本人学生間の中心人物になった。夫妻の気性の良さのしからしむるところだった。それにひきかえ、野坂夫妻の方はケチなくせに、インテリーの臭味があって、学生間では問題にならなかった。

この間の話は、当時共産大学の学生だった佐野博、風間丈吉両氏がくわしく知っている。学生が山本家に行くと台所が空っぽになるまでご馳走するが、野坂家はお茶も満足に出してくれないという定評だった。そしてこの人気をねたんだ野坂のデッチ上げの密告で、山本夫妻はソ連で粛清されたという噂さが日本に流れてきた。そして"山懸"の消息はパッタリ途絶えてしまった。戦後、彼を知る人たちは野坂の口から、この愛すべき夫妻の消息を聞けると思ったが、それは全く裏切られてしまった。荒畑寒村氏は、この非人間性を鋭く攻撃している。愛すべき共産党になるにはまだ〳〵これら真相を語らねばなるまい。(藤)

【写真は故山本懸蔵氏】

市況 再び強調含み

きのう一服のあと売物は早くも一巡模様となり、かたがた主力、仕手株には大証券の味付け的な買物がみられるので全般の市況は再び強調含みに転じている。特定株は朝から地所、東海上、平和不などはじめ軒並み一—四円方引締り。主力株中心に買われて地所八円高雑株も電力、砂糖株に根強い買気が続いて五円内外から二十円方続進をたどったほか低位金ヘンなど部分的に小口の押目買いがみられ一、三円方小幅りのものが多くなった。

▽高い株=九州電二十円、日鉄鉱十四円、三井不十三円、東北電十円、地所八円、台糖、住商、北陸電、東芝鋼五円

東京株式仲値

□新株落△配当落 (2日前場終値)

特定銘柄							
東海上	269	信越化	82	倉レ	98	小西六	120
郵船	60	東高圧	131	旭化成	355	カボン	42
新三菱	84	昭電工	91	山陽パ	110	三井物	140
日清紡	269	日本曹	82	日本パ	105	第一物	103
味の素	279	旭電化	—	国策パ	114	白木屋	—
三越	269	三菱造	87	東北パ	129	高島屋	85
三菱地	498	三井造	118	大東紡	101	日活	68
平和不	187	三菱重	63	商船	46	松竹	201
三井金	113	石川重	90	三井船	48	東宝	—
三菱金	93	精工	121	飯野海	47	大映	173
日鉱	89	東洋ベ	109	西武	358	日本粉	135
住友金	98	日立造	49	藤田興	217	日清粉	165
三菱鉱	44	浦賀	49	東京ガ	71	日本ビ	167
古河鉱	61	日平	19	東電	506	朝日ビ	184
同和鉱	121	古河電	70	日銀	—	キリン	202
住友炭	54	日立製	75	東銀	59	宝酒造	99
三井山	65	東芝	75	三井銀	—	台糖	258
北海炭	50	三菱電	86	富士銀	88	明糖	130
東邦亜	69	小松	41	日証金	92	甜菜糖	135
帝石	77	日本光	137	安田火	116	野田醤	191
日石	105	キヤノ	145	大正海	97	森永	281
昭和石	106	東京光	—	住友海	86	明菓	183
東燃	121	東洋紡	144	千代田	78	日水産	86
三菱石	128	鐘紡	120	鋼管	75	昭和産	103
大協石	123	富士紡	114	日製鋼	68	東洋罐	72
日東化	81	大日紡	85	八幡鉄	56	合同酒	120
日産化	78	日東紡	57	富士鉄	53	三楽	98
三菱化	97	片倉	35	神戸鋼	55	大阪瓦	164
三井化	119	東邦レ	104	日特鋼	116	王子紙	220
協和醗	113	帝麻	50	日軽金	190	十条紙	234
東合成	124	中繊	51	日金工	60	本州紙	91
三共薬	149	帝人	139	日セメ	141	三菱紙	90
		東洋レ	178	磐城セ	240	北越紙	61
		三菱レ	129	小野田	82	三井不	798
				横浜ゴ	167	三井倉	75
				旭硝子	150	渋沢倉	74
				富士写	135	東洋埠	178

内外抄

会談前に飛行士を釈放して米に肩すかしを食らわす。どうしてなかなか食えない中共。

◇

「飛行士釈放」のご馳走をしておいて「さて」と台湾問題を持出す中共の腹。

◇

アメリカから広島へ心のこもった「平和の鐘」の贈りもの。そのネは複雑に鳴り響くだろう。

◇

地球観測用に鉛筆型ロケットと人工衛星と、日米の科学発達の距離もこの程度。

◇

花火問屋の大惨事、オモチャ花火も間違えば修羅場にする。取締当局のルーズさ、処置なし。

ないがい川柳 吉田林司選

正装が汁を拭いてるPTA 千代田 南渡波

血税で汗ぬぐいする米価上げ 千葉 呑気坊

役人が[illegible]てたで世間の眼が光り 江戸川 比佐緒

西瓜切る父の裸が懐しい 船橋 稲村三久

流行を追って貯金がまだ出来ず 文京 木村いつ秋

イヤリング土人めいてる物を下げ 市川 川崎火呂志

あくびして閉じて枕にする良書 品川 蝸牛

青春無宿 (85)

大林清 作 / 下高原健二 画

仲たがい(三)

光代は言葉が継げなくなって、榎を見まもった。あんなにも懸命に、菅野からのがれようとし、どうやら事なく済んだのにと思えばむしろ榎にいたわられてもらいたいくらいだった。

榎も少し云いすぎたと思ったのか、いくぶん言葉をやわらげて、

「江の島へ行って、昨夜は菅野って男と真弓さんと、三人で泊ったんだね」

「ええ、でもあたしは真弓さんとおんなじ部屋へ二人きりで寝たのよ」

嘘をつくつもりはなかったのに真弓に云い含められた通りを、つい口にしてしまった。結果において、榎を裏切っていないという気持が、いくらかでも榎の疑惑を招きたくない意識といっしょになって、深くも考えずそれを云わせたのだった。もし自分だけ別室へ泊ったと云ったら、真弓がかくしておきたいことをあばくことになるし、菅野があとから忍びこんで来たのではないかと、気をまわされる心配があった。

「ふうん、菅野がよくそれで承知したね、僕は菅野という男を見たが、絶対にそんな紳士じゃない」

「菅野さんにどこで…」

榎は唇をゆがめて笑った。

「だから云ったろう、真弓さんが菅野を追って、スカーレットの店から消えた時、僕はそこで君を待っていたんだ。一昨日の晩、少し云いすぎたと思ったから、あやまるつもりで来たんだが、あらためてそれは撤回する。あれだけ僕が云ったのに、そのまた上塗りをするような真似をするなんて…」

「ちがいますそれは、あたしはそんな女じゃ…」

光代がたまりかねてさけびかけると、

「いやそうだ、今、君の口からどんな弁解を聞いたって、君が菅野につれだされて、江の島の旅館へ泊った事実はどうにもならないんだ」

「あんまりだわ」

光代は泣声になった。

「君は愛情の責任というのを、軽く考えすぎているか、全然愛情なんか持ってないかのどっちかなんだ。それなら僕だけが躍起になったって、君にはただおかしいだけだろう」

榎は冷たい声で吐きだすように云い、悲しさと口惜しさに、胸も裂けるような想いでうなだれた光代を、しばらくにらみすえていた。

「それで今夜はどうするんだね、また菅野とどこかで待ち合せかい」

「そんなひどいこと、よく云えるのね」

光代は涙のあふれる眼をあげた。

「まアいいさ、お邪魔にならないように僕は帰ろう」

榎はいきなり踵をかえしてあるきだした。

「待って! ねえ榎さん!」

光代が追いすがろうとしたが、榎は憎悪さえ感じられる眼を、一度ふりむけただけで、なお足を早めた。

光代は力尽きたように立ちどまった。追いすがる勇気も失ってしまったのだ。

客を漁るタクシーが、警笛を鳴らしながら寄って来ては、またはなれて行った。

夏の味　れいし

え・島村游児

◇…私の名は〝れいし〟です。にが瓜ともいい、沖縄ではゴードと呼ばれて大変珍重されます。瓢箪やへちまのように棚作りで、ぶらりとぶら下って成長しますが、親類の瓢箪やへちま程の剽軽さはないといわれます。がしかし私の皮膚の色は深いエメラルドで全体を覆う突起はリズミカルな線に連なって、南の海の小波を思わせます。私がオレンジ色になり、赤く熟れると、体が裂けて種を包んだ真紅の肉とともに地に落ちるのです。

◇…露が滴たるような、この真紅の肉は甘美な匂い、落ちない前に取り出し、そのままに食塩をふりかけて、洋酒、ビールのつまみに絶品である。れいしが青いうちに蔓からもいで、三分位いの輪切りにし、種をすてて、油で炒め、鰹節のダシでゆるめた好みの味噌、砂糖少少で味をつける。軟かく煮すぎぬ注意が肝要だ。舌ざわりがよく、このホロ苦さは他に類のない風味で酒肴によく、食事をすすめてくれる。これに、こまかく切った豚肉を入れてよく、また、水を切った豆腐を入れて炒り合せたのもうまい。（品川居）

モダン歳々記　佐倉義民傳

承応二年八月三日、下総国公津村の割元名主木内宗吾は、妻子とともに義民の名を受けながらも刑死を受けたのであった。彼は佐倉藩主堀田氏の苛酷なカレンチウキュウに喘ぐ農民の惨状をみるに忍びず、死を決して江戸にて、上野三枚橋畔で将軍に直訴をして捕えられたのである。封建的な世にあって一百姓が藩主の暴状を将軍に直訴するようなことがどんなにおゝそれたものであったかは想像するまでもない。それを敢えてしたのである。宗吾の胸中には一族を犠牲にしてもという覚悟があったのだろう。彼の死を賭しての行為は表面失敗に終ったが、その徳は後世にも讃えられ、同地の宗吾霊堂には徳満院涼風道閑居士と戒名を記した墓碑が立ち、父とともに殺された彦七、徳治、乙治、徳松の四子も祭られている。これは藩主堀田正信が宗吾の亡霊に悩まされ、こゝに祭祀したのだといわれている。芝居の「佐倉義民伝」では宗吾が宗五郎になっているが、毎年八月三日の磔刑（はりつけ）のこの日は、参詣者が霊堂に雲集するそうだ。（鮭）

絵羽ユカタ考現学

表留型…ハア、こうしてみるとドレスにも向きますな、お嬢さん

ノレン型…振模様にお毛の紋でも飾りつけると、リッパざんすの

ノシ歩き型…裾の方が細み染めになってます、急ら歩いても乱れません

お稽古通い型…ミーちゃん上手になったわね、踊りじゃないの、着付けがさ

人待ち型…お姉さんは雨ダレ模様、私は花模様なのよ、間違わないで

近ごろ街を歩くと、[illegible]ユカタ姿の女性がバカに多いことに[illegible]ながらばかり。こ[illegible]〝絵羽ユカタ〟という[illegible]からグンと流行し[illegible]なユカタを知って[illegible]に女性のハナをあ[illegible]殿方が知っていて[illegible]カタ考現学を、暑[illegible]は一席ー。

足もとをくっきり　ほんのりしたお色氣

○…映画〝ひとり寝る夜の小夏〟のあるシーン…伊豆の温泉町に帰った小夏が、新しい旦那につこうかつくまいかと、いで湯にひたりながら思い迷った挙句、心を決めて湯上りにまとったのが、肩口と裾に矢絣の大模様が華やかに彩る絵羽ユカタだった。小夏の情感と、絵羽ユカタの情感がピッタリして、こゝは心憎いばかりのシーン。男も女も思わずフッと溜息を洩らす。それほど情緒たっぷりな絵羽ユカタである。訪問着は持たなくても、普段着にこの絵羽織を軽く引っかければどこへ出ても恥かしくない。ユカタも今までのようなデザインではせいぜい湯上りの散歩に用いる程度。これを何とか街頭にまで着て歩けるように格上げすれば、売行きもさぞかし…と取らぬ狸の皮算用がとんだ実を結んで、絵羽織の実用性と訪問着の大模様を兼ね合せて生れたのが即ち絵羽ユカタと称されるユエン。試みに二、三年前から店頭に出していたが銘仙、錦紗が小柄地紋全盛だったので、残念ながらこの大柄模様は狙いはずれと相成った。おまけに袖と裾だけにポイントが強調されるから「まるで新選組みたい…」と敬遠されたものだ。

○…それが、今年になって流行の波に乗りつゝある…というのもつまりは流行心理のマカ不思議さといってしまえばそれまでだが、結局は夏の洋装が大柄で淡彩なものに変ってきた傾向と、浴衣地が逆にドレスに食い込んだり、夏のキモノも浴衣もまた見苦しからずテナ気分的な理由もあって、こゝに絵羽ユカタが漸く真価を発揮してきたわけ…デパートの売行きを聞いてみても十反に一反の割り、花柳界や下町の粋好みな女性に多いが、この魅力を一口でいうと〝今までの浴衣になかったゾコハカとないお色気〟がみられるそうで、たしかに足もとがクッキリしてオヤッと人目をひくことは間違いない。尤もある芸者衆にいわせると、ほかの着物と違って着付けがむずかしいとのこと。いわゆる〝ユカタ調〟で着るとすぐ線が崩れるし、固く着ると暑苦しくて〝ユカタ〟の気分が出ない。それに帯留などのアクセサリーにも気を使うそうだ。ともあれ、こういうコツを心得て〝どうだい、この夏も残り少いが絵羽ユカタ一つ〟テナことをいえば、女房孝行これに過ぎるものはない。

ゾーッとする話　怪談十話　⑨

片目の女新内流し

藤根道雄

東京名所になっている大きな蓮池を前にして、町の家並の殆どが「御待合」で、いつでも新内ナガシが十組くらい入替り立替りチンカラ〳〵と往来していた頃の話。大正大震災の前の年の夏かも知れない。

その晩、その町近くの色物席からの帰途、そこを通りかゝると、前方からチンカラが聞えて来たが、よく聞くとそれはヘイチョウ（一挺、つまり一人のナガシ）で、しかし妙に器用にタカネ（高音＝上調子）をからませているように聞かせてはいるが、変にテンポが妖しいくらい乱れている。近づいてみると果して一人だが、かつて見かけたことのない五十余りの小作りなアタマは細銀杏で着付けもさして見苦しくないけれど片眼で、それが極めて大きく光っている女の新内屋だったが、或る小待合の前で、どうしたことか大きく円を描きグルグル回りながらナガシを弾いている。

オヤ、と私もそれを聞くというより見ていると、何か段々物の怪につかれたように、いよいよテンポを乱してきたが、十分ほども経ったろうか、その女は立上って二階を見上げた。二階は二間、両方とも障子は開いているが一方は明るく一方は真ッ暗でー。

暗い方の座敷へ「如何でしょう？」と声をかけたがしばらくしても返事はなかった。と、その女はチョッと舌打ちをしてその小待合の玄関の格子をあけ女中らしい女と何か話しているうちにそこへその家の人々四、五人が集まってきて何かガヤガヤし始めた。私も野次馬になって聞いてみるとその女は今夜初めて麻布の方から来たのだが、二階の暗い座敷の窓に白い浴衣がけの芸妓と男がピタリとより添っていて、そのへナガシで来た女に「三勝縁切」を注文し二人とも姿を引っ込めた。

女が語り出して〳〵一夜流れの仇夢も別れは惜しき人…ドキにかゝると、ブッ[illegible]糸が切れたので糸をか[illegible]いると芸妓が顔を出し[illegible]う結構、その代りそこ[illegible]

[illegible]二階から声がかゝらないの[illegible]に話すと「今夜はどうし[illegible]お茶ひきで二階に客はな[illegible]いという返事。「では注文し[illegible]は？」と少しモメの模様。[illegible]は、そこでその場を離れた。[illegible]と見上げた二階の暗い窓[illegible]りと、白い物が動き、そ[illegible]に大きな眼が一つあるの[illegible]ような気がしたが見つめ[illegible]もなく、それどころか一[illegible]り返らずに急いで帰宅し[illegible]

[illegible]聞いた話に、その部屋で、[illegible]芸妓と女房子のある客が新[illegible]ナガシを聞きながら抱合って[illegible]心中をしたことがあったの[illegible]う。[illegible]の女新内屋はその夜限り[illegible]見えない。（新内研究家）

え・小田明男

世界流言譚　…（ポルトガル）…

リスボンは第一次大戦の昔から各国のスパイが入り乱れて情報を漁る活躍舞台です。某国のために情報を集めているガヴァスという青年、スパイにかけても女にかけてもなかなかの腕ッこきで度々の手柄は戦時の一個師団の活躍にも相当すると、上級機関から賞讃されるほどでしたが、上手の手から水が洩れるの譬通りある晩かけがえのない重要書類を紛失してしまいました。キャバレーで愛人のリリー相手にしたたか酒をくらって桃色の夢を結んだ晩でしたので、査問委員会でその不始末を厳重に追及された結果、リリーはスパイをスパイするおそるべき二重スパイだったことが暴露されてしまいました。調べてみると彼女にホテル行きを誘われた晩に限って何かの情報が必ずスパイされていたのです。カンカンになった査問委員長が吐き出すように罵ります。「キミは いつも彼 女のその手に乗せられていたんだな。大甘のデレ助め」すると彼は慌てて首を振ったものです。「いや、その手 なんかに乗せられるもんですか。ちゃんとその身体に乗っていたんですよ、委員長」

(海)(外)(特)(信)　モデルとしての女優

アメリカの有名な画家アーサー・モア氏はハリウッドの女優をモデルとして見た場合どうであるかについてつぎのようにいっている。エリザベス・テイラーの尻は実に魅力的で、その弱弱しいルーベンス好みの尻の線は全くすばらしいといい、デビー・レイノールズについては、そのよく発達した眼の筋肉と獣的な精力はモデルとしては最高であると評し、マリリン・モンロウについては〝すばらしいが、彼女の肢体はモデルとしては零点だ〟と酷評している

東海毒婦伝　青とかげ（26）

野沢純　土端一美画

蟬しぐれ（四）

豊吉は、云われる侭に前へ廻った。

おりうは別に、かくすところをかくそうともせず、両足をすらりと前へ、投げ出すように伸ばした侭、洗う方は豊吉にまかせきった──といったしぐさである。

豊吉は、かがんで足を洗いはじめる。

阿古屋珠（真珠）を扱うような丁重さである。

「くすぐったいよ！」

「へい……済んません」

「足の裏なんぞいいから、上の方を洗っておくれ」

「へい──」

豊吉の手はおず〳〵と、おりう様の足首からふくら脛へと伸びてゆく。

「もっと上の方まで」

「へい──」

ふくら脛から、膝へと伸びる。

膝から更に腿へと手が這う。

うつ向いて洗う、すぐ目の前に ふくよかな 股の分れが 映っていた。

おりうはそこをかくそうともしない。

豊吉の手が、俄かに鈍った。

ぶる〳〵ふるえているようである。

「ほほほほ……」

とつぜん、おりうが笑い出した。

「おばかさんねえ豊吉ったら。何をまご〳〵してるのさ。もういゝから、あっちへお行き──」

豊吉の顔が真っ赤になった。

あわてゝ出て行く豊吉の、後ろ姿を見送って、おりうは暫く、ころころ笑った。

おかしくもあり、哀れな気もした。

娘ごころの、いたずらっ気で、ふとからかう態度になったのも、まことを云えば、年若な男の気持が、知りたかったのである。

そっと試してみたかったのだ。

いわばダシに使われた豊吉である。

想いの底には、同じ二十歳の年若な、早瀬主水の姿が映っていた。

相手が武家の育ちであっても、所詮は男。女を見る目に変りはあるまい──と、それが試してみたかったのだ。

おりうも明けて十八である。

蕾はすでに、うすくれないの芯を仄かに覗かせて、花ならあやめ、百合、芍薬と開きかけている。

その芯は、求める蜂を待っている。

前髪立の若衆は、さし向き蜂でなければならない。

花のうてなをさし覗く、蜂であってほしいもの──と、それをおりうは胸の底から待ちのぞんでいるのだ。願っているのだ。

いつぞや小梅の「蔦の寮」でも胸の底には、それがあった。

心ひそかに動いてもいた。

屏風の陰にぱっくりと、緋裏を見せた友禅の、襦の色を見た時は、娘ごころの羞かしさに、はっと思わず襖を立てたが、ならば襦が恨めしかった。

襦が無ければ、総代りに、月夜の芝もあったものを──と、今にして思うのである。

その若衆は、塀を連ねた隣りの屋敷。

逢えば逢えないことはない。

まして両親は、日を重ねての箱根旅。

しかも今朝がた立ったばかり。どう急いでも四、五日は帰って来ない。

それを思うと、矢も楯もない。

人目の関を忍んでも、逢いたい気持が、どっと来た。

湯殿の外は、夏の烈日。

裸すがたのおりうの胸にも、人恋う想いが、炎となって燃えていた。

あすの運勢　＝八月三日＝　高島象山

▲一月生―邪気を排い疑心なく突進して目的を達す開業就職結婚吉
▲二月生―何事も苦労もあり困難もあるが根気よく努力すれば無事
▲三月生―進退に躊躇を生じ失敗を生じ易い金銭貸借は大に禁物也
▲四月生―好運躍進の義ありて思いが叶い利達あり開業就職結婚吉
▲五月生―内外共に平和で安楽に経過する消極的に稼業を守りて吉
▲六月生―何事も性急にして事を乱し短慮は物を破る心静かによし
▲七月生―物事順調にして信用を増し利達栄昌あり上位の引立あり
▲八月生―辛抱と忍耐は栄進の道を開く急ぎ焦るは失敗のもととなり
▲九月生―心迷うて物事不安なり進めば失敗あり控え目に時をまて
▲十月生―平穏の内に向上し稼業栄達あり開業移転造作結婚は大吉
▲十一月生―沈滞なる気分はやわらぎ安心来る新規は悪し保守よし
▲十二月生―物事強硬に流れ神経を痛める事あるも辛抱して後よし

ラジオとテレビ

2日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト 柳内達生ほか 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇きょうの市況 30 受信機講座 富村正春 40 暑さと体 富田恒男ほか	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 スイート・コンサート 25 ドレミファ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10「すずらん太郎」 25 東京マンボオーケストラ	00 ポツポちゃん物語 15 少年探偵団 真杉和夫他 30 歌謡百貨店 津村謙ほか
7	15 録音ニュース 30 話の泉 堀内敬三 渡辺紳一郎 サトウ・ハチロー 大田黒元雄 林髞	00 名曲鑑賞 序曲「海賊」ベルリオーズ作曲ほか 30 座談会「農村青年と夜遊び」岡田正明 浪江虔ほか	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 お好み寄席 落語独演会「不動坊火焔」柳家小さん	00 録音ニュース 10 君の歌僕の歌 藤山ほか 30 泣き笑い芝居横丁 渋谷天外 曽我廼家明蝶ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 水野健一 30 ミラクル・メロデイ 司会・久保田勝ほか
8	00 青空の仲間「ふるさと紀行の巻」榎本健一 竜岡晋 30 民謡をたずねて 音丸 喜久丸 夢吉 神山天水	05 座談会「小児麻痺最近の問題」北岡正房 西沢義人 堤直温 浅野秀二	00 剣に生きる人々「塚原ト伝」東野英治郎 柳永二郎 30 歌の風車 高田浩吉 北上弥太郎 淡島千景ほか	00 家庭音楽会 浅倉アナ 三味線豊吉 高山正彦ほか 30 連続講談「徳川家康」第六十二回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 司会・三木鮎郎 市村俊幸ほか 30 落語「質屋蔵」三遊亭円歌
9	05 ニュース解説 松宮克也 15 劇「源義経」半四郎 河村弘二 池田忠夫ほか 40 夏休みは来たけれど	00 音楽のおくりもの「オペラ名曲の夕べ」大谷冽子 日高久子 藤原義江 柴田睦陸 大熊文子 北沢栄他	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 劇「ほがらかさん」野沢ひとみ 轟夕起子 佐藤信	00 歌うバースデイプレゼント 楠トシエほか 30 ❶漫才「山と海」章吾・雪枝❷落語「もう半分」今輔	00 雪村いづみアワー 月光のチヤペルほか 30 劇「吹けよ川風」伴淳三郎 河村弘二 浅野浅夫他
10	15 シヤンソン集天野秋雄他 40 納涼お国めぐり「カムシユツペ物語」ほか	00 ❶初級国語 鳥山榛名❷上級解析 山崎三郎 45 気象通報	05 きょうのニユースから 15 劇「黒髪ざんげ」 30 名曲アワー	00 大学受験夏季実力錬成講座 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅰ）戸田清	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 35 映画劇「美女決闘」南田洋子 真弓田一夫ほか
11	10 フランス便り コメール 20 随筆「涼味」板垣直子	05 新商店読本 藤岡清則 20 下痢の原因と治療	10 マイク・ロータリー 録音構成「学校さまざま」	00 夏の夜話「悪童の時代」 20 移り行くキャンプ生活	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

テレビ

★NHK★ ◆6・00 西条八十童謡集 ◆6・30 漫画川柳風景 ◆7・10 素人ラジオ 探偵局「幽霊の出る部屋」◆7・50 納涼大会❶俗曲 勝太郎❷漫才「お笑い映画狂」英二・喜美江❸舞踊 下谷さくら会◆9・00 ニュース

★NTV★ ◆6・00 陽気な音楽一家 ◆6・20 劇「私のお母さん」風晃章子ほか ◆6・50カメラ探訪「ひやりビツクリ」◆7・30 東宝演芸場中継 円歌 小仙 千太・万吉 金馬 ◆9・00 映画案内・きょうの出来ごと

★KR★ ◆6・00 映画「カウボーイ現代版」◆7・00 映画「写真家ウエストン」◆7・30 浪曲天狗道場◆8・00 名作劇場「同志の人人」鈴木昭生ほか ◆9・00 朝日ニュース ◆9・10 週間海外ニュース・映画予告編

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 依田義賢	7・30 近世欧州の成立	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 おしやべりレデイ	7・35 放送論壇 清水崑
8・05 名演奏家の時間	8・00 療養の時間「夏の献立」	9・45 南米より帰りて	9・30 劇「青春のあるところ」	8・00 劇「サザエさん」
8・30 気質三題 植松正	9・00 きょうのラジオクラブ	10・10 名作「津軽の野ずら」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 お早ようブーちゃん
9・15 野外炊事はこんな風に	10・15 高校生実力養成七週間	11・15「母のない子」夏川静江	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題 鈴木明	11・15 林間学校の生活	12・15 ウエスタンパレード	12・00 活動から映画へ	11・00 連続劇「悦ちゃん」
10・15 商売拝見「氷屋」	11・30 中学校の社会科	1・05 病気と夏 岡田菊枝	1・00 ラジオ演芸欄◇寄席	0・00 声帯模写 木下華声他

相つぐ火薬爆発惨事
保土ヶ谷で27名重軽傷
日本カーリット工場で

【横浜発】二日午前十時四十分ごろ横浜市保土ケ谷区仏向町一六二五日本カーリット株式会社保土ケ谷工場（工場主吉津丈夫氏）内の西側にある製造課第六填薬工室が爆発、付近でカーリット（鉱山用火薬）を包装していた松宮泰弘さん(二五)織裳英夫さん(二五)ら二十七名が吹き飛ばされ、重軽傷を負い付近の植松病院、加藤木外科医院に収容した。急報により県警察本部から佐野刑事部長の指揮で機動隊一個中隊、消防車六台、救急車四台、警官八十名が出動、警戒と救助に当っている。

現場は谷間の中にあったため付近にある他の填薬工室、火薬貯蔵庫への誘発は避けられたが、爆発はものすごく現場から二百メートルほどはなれた丘にある同工場の原料乾燥室、原料粉砕室など十数棟の建物の窓ガラスが全部吹き飛んだ。爆発した第六填薬工室は爆発の瞬間、同室を囲んでいた塀の土砂で埋ったため、かろうじて負傷者を救出、血に染った衣類が付近に散乱凄惨をきわめている。原因はまだ不明だが、火薬包装のさいの摩擦によるものではないかとみられている。なお、同工場ではただちに医務室に対策本部を設け誘発の防止と善後策を協議している。

保土ヶ谷は選別工場

日本カーリット会社（本社東京都千代田区内幸町、社長岡部栄一氏）はカーリット爆薬（鉱山土木工事用爆薬）を製造、工場は保土ケ谷と渋川（群馬県）の二ヵ所にある。保土ケ谷工場は昭和九年建設従業員約四百人、爆発した薬室は爆薬製造工程のうち異物をよりわけるふるいわけ作業を行ってるところ。

ぽっかり大穴！
原料火薬か 凄い爆発力
厩橋現場

一瞬に十八名の生命を奪った昨夕の墨田区厩橋一丁目花火問屋東高産業墨田工場（責任者井上秀作さん）の爆発事故につき本所署、警視庁ら捜査一課、鑑識課、科学研究所、東京消防庁、都衛生局、予備隊二個中隊各係官が二日午前十時から現場の発掘作業とともに現場検証を行い原因究明に乗出した。

爆発現場の井上さん方の焼跡にはコンクリートの床が直径約二メートル、深さ約四十センチの穴がポッカリあいており、かなり強大な爆発力を物語っているので、おもちゃ花火の問屋ではありながら内密に製造を行い、その原料火薬が爆発したのではないかともみられている。

なお死者は行方不明の鈴木磯二さんが同朝発掘されたので十八名となった。

複雑な井上さん家庭

付近の人の話では、主人の井上秀作さんは日頃からやかましい人で煙草その他の火気類は厳重に注意していたというが、一部には井上きさん宅の家庭事情は極めて複雑だったというところから犯罪の疑いもあるとして一応捜査している。

秀作さん夫婦は夫婦養子で、しかも秀作さんは二度目の夫。養父の清司さんは本年四月ごろ自殺したという噂もあり、店員も殆どが三ヵ月から五ヵ月の短期間でやめているような状態だったという。

死者一名ふえる
予備隊も出て死体発掘

△…恐怖の一夜を明かした爆発事故現場は二日うだる様な熱気のうちに黒々と残がいをさらしている。飛び散った戸板、ふとんの切れはし、ガラス破片もまだそのまま、たゞ呆然と焼跡を遠まきに佇む人々、きのうの出来事を頭の中にもう一度思い浮べようとするかのようなうつろな顔。安否をきずかって駈けつけた親類らしい人々が右往左往している。

△…午前十時警視庁五、七予備隊が現場に到着、死体の発掘作業にとりかゝった。火元の井上さんの店と筋向い、東京鉛会社の寮からも誰のものとも判らない黒焦げの肉片が掘り出されると忽ちギラギラと無気味に光る銀蠅が群がるその脇に若い女の人がそっと小さい花束を投げかけていた。

△…一方厩橋一丁目町会事務所前の路上に一夜を明かした十七の棺は駈けつけた親類、知人、近隣の人々にみとられて本所仏教会斎藤種山師ら僧侶たちの読経のうちに慌しい野辺の送りが進められていった。これらの遺体は身寄りの人々の死体確認と都監察医務員の検視をうけた後、江戸川区小松川の瑞江火葬場へ送られる。なお同町会では三日午後三時から罹災記念堂で合同慰霊祭を行うこととなった。

㊤予備隊の死体発掘作業、ちぎれ飛んだ腕や足が続々と発見された㊥香煙けむる十八犠牲者の野辺送り㊦ガラス窓もメチャメチャに半壊した付近の家

逃遅れ二名焼死
亀戸の硝子工場火事

厩橋の花火問屋の爆発惨事が起った矢先、けさ亀戸の硝子工場が焼け、逃げ遅れた二人が焼死した。

二日午前三時十分ごろ江東区亀戸六の九五興亜ガラス会社＝社長佐藤又次郎氏(六七)＝のガラス工場のカマド付近から出火、同工場と寮兼事務所など一棟百二十坪を全焼して同四時十分ごろ鎮火した。この火災で逃げ遅れた同工場炊事婦宮川きみさん(四七)同雑役夫内村定吉さん(六九)の二人は焼死。寮内の工員十四名が焼出された。城東署の調べでは原因は重油タンクからひいたゴム管の継目からこぼれた油が加熱したカマドに引火したもの。損害約六百万円。

エムさん

坊や窓から転落死亡

一日午後五時半ごろ台東区浅草橋三の一五人形問屋中川栄吉さん長男秀幸君(七)＝柳北小二年生＝は自宅階下六畳間の出窓についている板囲いの塀（高さ二メートル）に馬乗りになって遊んでいる最中誤って両手を放し路上に転落、頭を打って付近の病院に収容されたが二日午前四時死亡した。

重軽傷53名出す
海水浴帰りのバス転落
島根

【松江発】島根県で海水浴帰りの超満員バスが川に転落、重軽傷五十三名を出した。一日午後七時ごろ石見交通株式会社（本社益田市益田、社長小川松吉氏）貸切バス＝運転手桑原孝(三八)＝が益田市大浜海水浴場帰りの鹿足郡津和野町大字畑迫の団体客五十八名を乗せて同郡日原町大字野口地内の国道に差しかかったさい、ハンドルの故障から五メートル下の高津川に転落、車体を大破し、吉崎秀子さん(三六)ら八名が重傷、四十五名が軽傷を負った。

交番へ横付け騒ぐ
運転手の気転で チンピラ強盗ご用

二日午前二時半ごろ豊島区池袋四の四六五京北自動車宿谷武一運転手(四二)は北区滝野川七の四〇先から新宿までの約束で乗せた男に新宿三越前で果物ナイフをつきつけられ「車を止めると殺すぞ、ガソリンがなくなるまで走れ」と脅されたが、宿谷運転手は気転をきかして賊を乗せたまま淀橋署新宿駅東口交番前に乗りつけて騒いだ。賊は反対側のドアから逃げだしたがすぐ同署員に逮捕された。調べでは北区滝野川町無職少年A(一八)で遊興費ほしさからの犯行と自供強盗の現行犯で留置された。

浴衣の自動車強盗

二日午前一時十分ごろ江東区北砂町一の二二五先で、足立区千住末広町昭栄タクシー運転手日石矢寿雄さん(三四)は、北砂町一丁目停留所付近から亀戸三丁目までの約束で乗せた二十二、三歳五尺二、三寸浴衣で草履ばきの男に短刀様のもので脅され現金二百円を強奪されたと城東署に届出た。

質屋強盗自供
血液売り五人組

戸塚署では二日朝までに新潟県生れ住所不定、無職前科二犯斎藤伊一(三〇)神奈川県生れ前科一犯小川こと蛭田孝(三七)岩手県生れ鶴野雅夫(三四)四倉敏雄(三四)吉田竜太郎(三二)この五人を強盗傷害ならびに同予備、窃盗などの疑いで逮捕した。調べでは五人とも新宿区下落合二の七二四富士血液銀行に血液を売って生活していたが、去る六月十四日定員で血が売れないため金に困り、斎藤、蛭田、鶴野の三人は同日午前九時四十分頃、同銀行からの帰り道、豊島区長崎町一の三三質屋「よねや」＝店主渡辺えいさん(五三)＝方に客を装って押し入ったが騒がれてえいさんの弟、銀行員藤沢庄治さん(五〇)の右手を斬りつけ全治一ヵ月の重傷を負わせて逃走、ほか窃盗の余罪数件も自供

テレビなど五百万円
取込みサギ会社 一味七名挙る

荏原署は二日朝までに千代田区丸ノ内一の八日本興銀ビル五階千代田商会社長浅間竜雄(四四)＝練馬区向山町一六一二＝同営業部長土屋勇(四二)＝葛飾区本田立石町六〇六＝など同社員計七人を詐欺の疑いで検挙した。調べによると七人は月賦詐欺で一儲けしようと電気洗濯機、テレビなどを買入れ、浅間が社長におさまって昨年十一月インチキ会社を設立、同十二月六日品川区小山二の一四七電気器具商村田実さん(四八)方に、土屋が訪れ東芝洗濯機二台（五万八千八百円）同十四インチテレビ二台（二十七万二千円）計三十三万円のほか二ヵ月間に都内の電気商から電気洗濯機四十五台、テレビ十四台など三十六件約五百万円の詐欺を働いていたもの。

手口は相手を信用させるため「社長用のテレビがほしい、会社の関係方面へ贈物にしたい」と初回金を払込み品物が届くと同時に社員がそれを市価の七割位の値段で神田方面の電気器具問屋に売捌き、金はそれぞれ山分け生活費にあてゝいた。また浅間ら一味はさる二十八年品川区南品川四の三〇六〝無銭飲食会社〟をつくり品川区内の料亭で二百万円相当の無銭飲食を働き、同署に検挙されたこともある。

ふし穴
フォールされたネオン街

△…このところ連日三十四度という異常高温で東京のネオン街も本格的な夏枯れの到来「冷房完備」「富士山頂の涼しさ」「シベリアの冷気」などという勇ましい看板を出しているサロンも現われたが、ちかごろは冷房だけでは客がひけないらしく、十時近くならなければ客足がつかぬという店も少くないという。

とくに七月はプロレスと花火の挟み撃ちが痛かったらしい。プロレスの夜のテレビの凄まじい人気は周知の通りだが、このテレビ放送が十時過ぎまであるのでキャバレー、サロンは大痛手、喫茶店や酒場あたりならテレビを備えるという手もあるがまさかキャバレーではそうもいかず、どこの支配人も「プロレスの夜はまったく唐手チョップでやられたような痛さですよ」とボヤく。

テレビ酒場や喫茶店でも、数時間も客は動かないのだから、百円の会員券を売っても回転率を考えると儲けははるかに悪いそうで、いずれにしてもプロレスは〝八丁荒し〟というワケ。

△…幕下までいった忍岩が転向した―とはいってもプロレスではなく、ボクシングなのだから珍らしいこと。いま国光拳闘クラブで先輩相手に猛練習中だが、なかなかどうしてそのパンチは相当なもので、先輩連もいささかヘキエキ。だが、やっぱり土俵のクセが直らず、打ってゆくときに両足をウーンと踏ばるので、そのたびに「いよー関取」とひやかされている。いまに忍岩という前代未聞の名のボクサーが生れるだろう。

△…〝フジヤマの飛魚〟と全世界に雷名を轟かせ、敗戦日本の人心を振起させた古橋広之進君は、こんどの日米水上大会の日本チームのマネジャーとして活躍しているが、去る日の夕方、勤め先の大同毛織を訪れると、ガランとした事務室にただ一人で一心に書類と取組んでいる。きけば「水泳のことで会社の仕事を離れる時がチョイチョイあるので、いまのうちにウンと仕事を片付けてしまうのです」と書類から眼も離さずの答えだった。当然といえば当然なことだろうが、〝水上日本〟の輝かしい記録の貴いカゲの努力ということをシミジミと感じた。（黄）

銀座不二家の小火

二日朝六時十五分ごろ中央区銀座八の二「不二家」菓子店八丁目支店（責任者塚口五郎氏）階下から出火、宿直の店員草原書代志君(三四)が発見消火につとめ二階のレストラン〝スエヒロ〟の一部を焦がしただけで消しとめた。京橋署で原因調査中だが漏電らしい。

戸田ボート

日本ボート協会主催第四回戸田ボートレース前節は三日から七日まで一都五県から選抜された優秀選手により〝関東、東海地区争覇競艇〟が十二時発走で開催される。

◇優勝候補 地元の吉田正、神奈川の渡辺研、新堀一、東京の田宮宏、加藤年に対し三重の小栗豊、清水幸、寺尾七がどこまで迫るかがみもの、このほか徳江節、吉田豊、山本武、山口博、宮下芳、浅田福、竹内勇、市川昌、林重、堀田竜も好モーターを引き当ての対戦となれば面白い、好調モーターは次の通り。

▽キヌタ あまぎ、妙高、りよう、がみ、たかちほ、あらかわ、きそ、あづま、ばんだい、はこね、たかお、もがみ、はるな

▽ヤマト やましな、うめ、ぼたん、むつ、わかさ、さがみ、かわち、ふじ、やまと、あわ、きく、あおい

（京一男）

花月園競輪最終日 ◇第1B（千二百）❶新藤一郎1分43秒7❷田中美光3/4車差❸渋谷和夫（単）220円（複）100円160円180円（連）④―③830円

あすのスポーツ △プロ野球 東映対阪急（七時、駒沢）トンボ対毎日（七時、川崎）△全国都市対抗野球（三日、小樽協会対岡山鉄道局、東レ大津対住友金属大阪、大昭和製紙対専売公社千葉、一時半、後楽園）△競馬 川崎（正午）船橋（正午）

このワシを見倣え
人間世界の食中毒はお笑い草

〇…ことしほど食中毒患者が多い夏はない。中毒とは文字通り「毒にアタル」ことだ。こないだはイカサシ、つまりイカのサシミでだいぶやられたが、そうかといってイカサシを食べれば必ずアタルとはいえない。世の呑助どももそれを証明している。つまりは、何にかかわらずこの猛暑でイカレたものを食べると胃袋がイカレるのだ。だがしかし、席を並べて同じものを食べても、イカレる人もあるし、イカレない人もある。その時のコンディションもあるがイカレない人は丈夫なのだろう。

〇…しかし、いま自分がこれを食べるとイカレるか、イカレないかは判断できないのだから異常高温でイカレるようなナマものはなるべく敬して遠ざけたほうが賢明であろう。いやいやそんな理窟はわかりきっているワイ。オレに限ってアタルなんてこたァないよーと危険を冒してナマものと親しむのが冒険心に富む万物の霊長たる人間の常である。しかして鵜は残念ながら人類ほど冒険心はない。それこそクサルほど餌のアジを与えられても〝危険な季節〟だけに敢て見向きもしないのである。

〇…昔から〝鵜の真似をする烏〟という諺がある。それだけの力量もないクセに力量ある人の真似をして失敗する意なのだが、この場合に限り、食欲を少し犠牲にしても〝鵜の真似をする〟ようなほうが賢明のような気がしてならない。【写真は上野水上動物園にて】

② 鵜

独眼灯

〇…ジャズ歌手の仲良しグループ柳沢真一、ペギー葉山、小川洋子の三人が珍しく日劇〝夏のおどり〟で顔合せて大喜び。

〇…早速楽屋に集って幕間のおしゃべりを楽しんでいるが、プールも涼しげな舞台にくらべて楽屋は蒸し風呂とあって、このところ十八貫八百匁を越した真一クンは神経痛だから着物を脱ぐわけにもいかないし、肩はこるやらと大こぼし。

〇…「じゃあ真ちゃんの肩を叩いてあげる」と二人の美人にとり囲まれた彼氏、ほのかな胸いのたちこめる脳のあたりを眺めて「夕涼みよくぞ女（元の句は男）に生れける…女はいゝねェ」

【写真は左からペギー葉山、柳沢真一、小川洋子】